

2026年度

大学院入学試験問題

経済学研究科 博士課程

前期課程Ⅱ期

《経済学専修コース》

専門科目

広島経済大学

〔試験日：2026年2月24日〕

D. 財政学・金融論

以下の問題から、1 題を選択して解答しなさい。

問題 1. 金融政策が実体経済に影響を及ぼすまでの過程を「金融政策の波及経路」という観点から説明しなさい。

問題 2. 次の (1) と (2) の両方を解答しなさい。

(1) 一般に租税原則といわれるものには、伝統的にアダム・スミス、ワグナー、マスグレイブの租税原則があります。これとは別に、わが国では 1988 年の税制改革に際し、税制の在り方を検討する際の基本的視点として 3 つの租税原則が提示されています。

これら 3 つの原則の内容を、それぞれ詳細に説明しなさい。

また、これら 3 つの租税原則のほか、ボーダーレス化の進展に伴いわが国の税制が国際的な整合性を保っているのか否かが近時重要とされています。租税原則としてのこの国際的整合性についても説明しなさい。

(2) わが国の現行の所得税の納税義務者と法人税の納税義務者についてそれぞれ詳述しなさい。